

2020(令和2)年度事業報告

I. 運 営

1. 第1回運営委員会

- 日 時：2020年6月20日(土)～23日(火)
- 場 所：メール持ち回り審議
- 出席者数：9名(委任状提出者0名)
- 議 題：
 - (1) 2020年度法学研究所所員名簿の確認
 - (2) 2019年度法学研究所事業報告および収支決算
 - (3) 2020年度法学研究所事業計画(案)および収支予算(案)
 - (4) その他

2. 総 会

- 日 時：2020年6月30日(火) 14:50～15:10
- 場 所：オンライン(Microsoft Teams)
- 出席者数：52名(委任状提出者19名を含む)
- 議 題：
 - (1) 2020年度法学研究所所員名簿の確認
 - (2) 2019年度法学研究所事業報告および収支決算について
 - (3) 2020年度法学研究所事業計画(案)および収支予算(案)について
 - (4) その他
- 報告事項
 - (1) 紀要第46号(公法の諸問題X)の編集について
 - (2) 所報第61号の刊行について
 - (3) その他

3. 第2回運営委員会

- 日 時：2020年11月10日(火) 12:00～13:00
- 場 所：オンライン(Zoom)
- 出席者数：9名(委任状提出者0名)
- 議 題：
 - (1) 2021年度事業計画・予算要求について
 - (2) 合宿研究会の企画について
 - (3) 公開講座について

- (4) 紀要・所報編集の進捗状況の報告
- (5) 第13期自己点検・評価報告書について
- (6) その他

II. 研究活動

1. ワークショップ等

開催せず

2. 公開講座, 公開シンポジウム等

(1) 専修大学法学研究所 2020年度学生と市民のための公開講座

テーマ「法と政治の現況Ⅱ」

【主 催】専修大学法学研究所 (共催：専修大学法学部)

【対 象】一般市民, 本学学生 【場 所】オンライン (Zoom) 【受講料】無料

内容	講師	開催日	受講者数
第1回 アメリカは「例外国家」であり続けるか? ——米大統領選後の展望	三牧聖子 (高崎経済大学 経済学部准教授)	令2.12.4(金)	60名
第2回 “新しい政治様式”のもとでの危うい法 治主義・民主主義——新型コロナ感 染対策・日本学術会議会員任命拒否 にみる官邸権力の暴走	白藤博行 (専修大学 法学部教授)	令2.12.11(金)	75名
第3回 リベラリズムの現代的展開 ——権利と道徳の間で	川上洋平 (専修大学 法学部准教授)	令2.12.18(金)	97名

(2) 専修大学法学研究所主催シンポジウム

テーマ「いのちを大切にできる安全な社会づくりをめざして」

【主 催】専修大学法学研究所・専修大学法社会学ゼミナール・一般社団法人健太いのちの教室

【対 象】一般市民, 本学学生 【場 所】オンライン (Zoom) 【受講料】無料

内容	講師	開催日	受講者数
七十七銀行女川支店津波 事故とその後の活動経過	田村孝行・弘美 (一般社団法人健 太いのちの教室)	令3.3.6(土)	100名
パネルディスカッション 「いのちを大切にできる安全 な社会づくりをめざして」	田村孝行・弘美 美谷島邦子 (日航機墜落事故遺族) 市川正子 (シンドラーエレベーター 事故遺族) 加山圭子 (竹ノ塚踏切事故遺族) 永野 海 (弁護士) 飯 考行 (専修大学法学部教授)		
まとめ	柳田邦男 (作家・評論家)		

3. 研究助成

なし

Ⅲ. 刊行物

1. 法学研究所紀要の刊行

紀要第46号『公法の諸問題X』2021(令和3)年2月25日 600部発行

【論説】

久保田祐介 「安楽死・尊厳死／治療中止の憲法的基盤——透析中止の事例を発端として」

白藤博行 「『晴海五丁目西地区第一種市街地再開発事業』にかかる財務会計行為の違法性」

晴山一穂 「一行政法学者からの憲法学への問題提起——竹内章郎・吉崎祥司『社会権』を契機として」

谷口智紀 「租税法における要件事実論と不確定概念——相続税法七条にいう『著しく低い価額の対価』の解釈を中心に」

増田英俊 「通達による租税回避の否認の憲法適合性——租税憲法学と租税正義の視点から」

山本直毅 「預金債権差押処分における納税者の権利保護」

2. 法学研究所所報の刊行

(1) 所報第61号2020(令和2)年7月30日 500部発行

【特集 学生と市民のための公開講座『法と政治の現況Ⅰ』】

常井健一 「フリージャーナリストはいかに政治をえぐるか？」

船山泰範 「検察審査会から刑事司法市民参加を考える」

関 真也 「ファッションローへの招待」

【書評】

高木正則 「田邊宏康著『有価証券法理の深化と進化』」

(2) 所報第62号2021(令和3)年2月20日500部発行

【新所員研究紹介】

小川 恵 「遺言執行者制度に関する研究——ドイツ遺言執行者制度をもとに」

谷口智紀 「自著紹介と今後の研究課題」

道垣内弘人 「本当にやりたかったのは……」

浜田太郎 「WTO協定の規範性の希薄化・脆弱化——違反の蔓延に対する評価と対応」

松嶋祐子 「私のこれまでの軌跡と今後取り組みたい事柄」

【法学部教授退任記念講演】

坂本武憲 「私の研究生活の目標——正当な概念法学の定立をめざして」

福永礼治 「『代理権の濫用』とのかかわり」

【自著紹介に代えて】

菅原 光 「現代語訳の功罪——菅原光・相原耕作・島田英明訳『西周 現代語訳セレクション』」

【シンポジウム開催報告】

飯 考行 「大川小学校津波訴訟とその意義」

2019年度事業報告